自ら考えることができるように

主幹教諭 稲葉 真一郎

2年生とひき算の確かめ算を学習しているときのこと。(教科書のまとめ)【ひき算の答えにひく数を足すと、ひかれる数になる。】を読んで「教科書のまとめはわからない。漢字が多いし、言葉もわかりにくい。」「これって、全部から、こっちとこっちに分けたから、合わせれば元に戻るってことでしょ。」と自分なりに解釈したことを話してくれました。きちんとひき算とたし算の関係を伝えているなぁ。と、感心しました。

生活科の時間には、野菜を育てるために苗を4つ用意して何の苗か聞きました。すると、「見たことある。ナスだよ。」「茎も紫だし。」「つるがあるね。」「葉っぱがぎざぎざ。」「こっちの葉っぱは、盾みたい。」「匂いがゴーヤ。」「キュウリかも、先生、ネットでキュウリの葉っぱって調べて(入力してという意味)。」などなど。気が付いたことを自由に話し、予想する。話していく中で確信に変わっているようでした。答えは、実がなったときのお楽しみ。これからの変化の激しい予測困難な社会に対応していくためにも、大切なことは、違いを見付けるためによく見比べたり、今までの経験から推測したり、インターネットを活用したり、友達の考えに耳を傾けたりしながら自分なりに納得のいく理由を見付けて主体的に意思決定する練習を積み重ねることだと思います。

どちらの授業も、子供たちは自分たちの言葉で分かったことや気付いたことを説明し、理解しようとしていました。

最近読んだ本の話の中に、「プルクルステスの寝台(PROCRUSTEAN BED)」というギリシャ神話が出てきました。プルクルステスは街道に出没した山賊です。

プルクルステスは、疲れた旅人に「ベッドがあなたにピッタリ合うようならばその場で休める」と誘います。しかし、ベッドは2種類あり、体の大きな人には小さなベッド、体の小さな人には大きなベッドを使わせます。そして、旅人がベッドからはみ出せば、はみ出した部分を切り落とし、小さければ、引っ張って引き裂いたというのです。決して合うはずのないベッドに乗せ、無理やり人間をベッドに合わせてその命を奪うという神話です。この神話は、「人には、自分の基準に無理やり相手を当てはめようとしてしまうところがある。」という教訓を伝えています。

教室にいる子供たちも、一人一人違います。だから、無理やり、はみ出している部分を、引っ込めさせたり、 足りないところをひっぱってこちらの思い通りの子供にする。とならないように、つつじ小学校では、日々、子 供たちの声に耳を傾けて、一人一人が学んでいく過程を大切にしながら、教育活動に取り組んでいます。

2024年 6月 主な行事予定

1	土		17	月	学校公開(~19 日) 水泳指導始 給食試食会(1 年)
2	日		18	火	道徳授業地区公開講座 SC (2H 授業 3,4H 体験講演)
3	月	スポーツテスト予備日 農園訪問 見学 (2年) 教育実習始	19	水	学校公開 終 SC 全学年 4 時間授業
4	火	避難訓練 11:20 SC	20	木	
5	水	SC	21	金	クラブ活動
6	木	浄水場見学 AM 4 年	22	土	開校記念日 親子レク 14:00~16:00
7	金	委員会活動 移動教室前保護者会 15:30	23	Ш	
8	土		24	月	農園訪問 収穫体験(2年)
9	Ш		25	火	移動教室前臨時健康相談 13:30
10	月	大島丸見学 PM 5年	26	水	農園訪問(予備日)
11	火	小中合同集会(1 校時)	27	木	キャンプ① (4,5年)
12	水		28	金	キャンプ②(4,5 年:午後カット)
13	木		29	土	
14	金	クラブ活動 プール開き (朝) 教育実習終	30	日	
15	土				

7月の主な予定

日

16

9日(火)~17日(水) 夏の三者面談 18日(木) 着衣泳、給食終了 19日(水) 終業式、大掃除 20日(土)~8月31日(土) 夏季休業日

